

製品名: TSSK 4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19376**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	TSSK4
別名	TSSK4; C14orf20; STK22E; TSSK5; Testis-specific serine/threonine-protein kinase 4; TSK-4; TSSK-4; Testis-specific kinase 4; Serine/threonine-protein kinase 22E
遺伝子 ID	283629.0
SwissProt ID	Q6SA08
免疫原	抗血清はヒト TSSK4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 211-260

背景

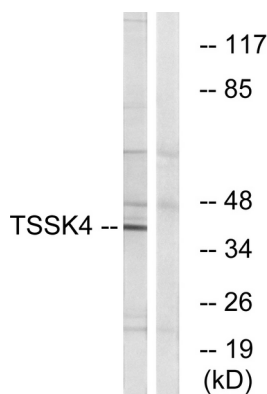
この遺伝子は、精巣特異的セリン / スレオニンキナーゼファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質

は、cAMP 応答配列結合タンパク質転写因子のリン酸化を介して CREB/CRE 応答経路を刺激し、精子形成に関与すると考えられています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2010年5月],触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。補因子: マグネシウム。酵素調節: Thr-197 のリン酸化によって活性化され、自己リン酸化によって活性化される可能性があります。機能: 男性生殖細胞の発達または成熟精子の機能におけるシグナル伝達経路に関与している可能性があります (類似性による)。CREB1 の Ser-133 をリン酸化して、下流のシグナル伝達を刺激します。PTM: 自己リン酸化 (類似性による)。DNA 損傷時にリン酸化される。おそらく ATM または ATR による。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。CAMK Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。組織特異性: 精巣でのみ発現する。、

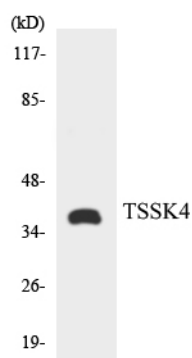
研究分野

-

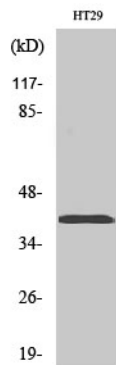
画像データ



TSSK4 抗体を用いた HT-29 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



TSSK4 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



TSSK 4 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は1:20000に希釈した。